



ぶらりらいぶらりい

～図書室にはこんな本があります～

No. 130

★利用者からの質問をもとに昭和館図書室の資料をご紹介します。
(書名の後の()の数字は請求記号です。)

問) 戦争中の配給制とは、どのような制度だったか知りたい

答) 「配給制」をキーワードとしてことば検索をしてみます。

図書 → **ことば** → **配給制** ⇒ 91件

『戦争と民衆』(E210.75/A35) 閉架書庫

『圖解物資配給總覽 昭和18年版』(E675/Sh96/1943) 閉架書庫

閲覧室にある本の中から探したい場合は、**ひとつ前に戻るボタン**を押し、開架 閉架]の部分で、閉架のをはずして下さい。(クリックするとチェックがはずれます。)

『戦争とくらしの事典』(210.75/Se73) 開架児童書棚

『早わかり昭和史』(210.7/F93) 開架書庫

『昭和日本史 7』(210.7/Sh97/7) 開架書庫

『図説昭和の歴史 8』(210.7/Sh97/8) 開架書庫

※ 配給について書かれている本はたくさんあります。

調べたいことが限定されている場合は、「配給」+「物資名等」をキーワードとして検索したり、出版年や分類で絞り込みをしてみてください。

図書室には、書棚に並んでいる図書以外にもたくさんあります。

検索端末を使って、読みたい本を探してみてください。

操作方法等は、カウンター職員までお気軽にお問い合わせください。

— 国民的人気番組 NHK 紅白歌合戦 —



大晦日の夜に放送される国民的な歌謡番組「NHK 紅白歌合戦」。年末の風物詩として日本人に親しまれています。息の長いこの番組のルーツを辿ってみます。

ラジオから流れる音楽が変容を遂げたのは終戦後のことです。昭和20年11月、NHKは戦後という新しい時代にふさわしい音楽番組の企画を始めていました。戦後の男女平等という時代を考え、男女が歌うという演出で紅白というアイデアが浮かびました。「紅白歌合戦」というタイトルでGHQの民間情報教育局に企画書を提出したところクレームがきました。「戦争を放棄した敗戦国の日本が合戦とは何事か」

そこで「合戦」を「試合」に改め『紅白音楽試合』となりました。昭和20年の大晦日に、放送され、その反響は凄まじいものでした。

実際に「紅白歌合戦」が誕生するのはその5年後の昭和26年1月3日です。ラジオの正月特別番組としてNHKのスタジオから放送されました。当初は単発の正月番組であり、その後、半世紀以上も続く番組になるとは予想もされなかったことでしょう。昭和28年の第4回目から大晦日に放送されるようになり、テレビとラジオの同時中継が始まりました。会場もNHKのスタジオから大きな劇場に変わりました。生の舞台を見たいというファンの声が大きくなってきたからです。

こうして「紅白歌合戦」は、その年のヒット曲のすべてが楽しめる年末の大イベントとして定着しました。歌手にとっても、この番組に出演することが一流歌手を意味するようになったのです。



← 「紅白音楽試合」の番組表 ←

昭和20年12月31日の朝日新聞(東京版)より

『朝日新聞縮刷版 昭和20年下半年』(071/A82/1945-2)

「紅白音楽試合」は大晦日の午後10時20分から放送されました。このときの紅白それぞれの司会は、男装の麗人として人気を誇った水の江滝子と“丸の内の笑王”こと古川緑波。「リンゴの唄」の並木路子、童謡の川田正子、オペラの藤原義江など紅白各十数人の歌い手が登場しました。バイオリン、木琴、尺八などの楽器演奏もプログラムに入っていました。

『昭和タイムズ 平成元年—20年』(210.75/Sh97/1)

『テレビ50年 あの日のあの時、そして未来へ』(699/N71)

『日本流行歌変遷史』(767/Ki24)

— 図書室から —

* 資料公開コーナーのご案内

12月26日(日)まで、「戦中と戦後を伝えた「新聞」」を1階ロビーにて開催しています。

新年1月5日(水)から2月20日(日)まで「婦人雑誌の付録—料理編—」を開催いたします。どうぞご見学下さい。

ぶらりらいぶらりい ~図書室にはこんな本があります~ NO. 130

2010年12月20日 発行

編集・発行 昭和館 図書室

〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1